

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	令和3年3月11日(木) 13:30~15:30
場所	沖縄県立図書館6階研修室
出席委員名	望月 道浩会長、山城勝美委員、新垣 吉宗委員、大田 将之委員、榮野川敦委員、山口 真也委員(リモート) (6名)
議題及び報告事項	報告事項1 電子書籍サービスの開始について 報告事項2 令和3年度当初予算案の概要について 報告事項3 沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価(対象年度:令和元年度)及び令和2年度対象評価の目標値について 報告事項4 沖縄県立図書館運営方針について 協議事項1 新たな図書館評価について
会議の概要	報告事項、協議事項について、質疑応答及び協議を行った。 委員からの質疑及び協議結果等については別紙のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 玉那覇・小池 電話 098-894-5858
備考	

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	令和3年3月11日(木) 13:30~15:30
場所	沖縄県立図書館6階研修室
会議の概要	<p>報告事項1 電子書籍サービスの開始について</p> <p>○電子書籍について、4月からの新年度に向けては、現在の700冊から1年間でどれぐらい増える予定で検討されているのか。</p> <p>〈回答〉次年度は、電子書籍の追加について予算要求していないため、次年度予算の執行状況を見ながら追加を検討することになる。</p> <p>報告事項2 令和3年度当初予算案の概要について</p> <p>○離島読書活動支援事業の需要費がマイナス94.6%となっている理由は何か。</p> <p>〈回答〉離島読書活動支援事業の需要費について、約300万円の減になるが、これはほぼ全額が広域サービス用の図書購入費の減となる。図書購入については、別事業（離島読書活動充実事業）の需要費（約560万円）で行うこととなる。</p> <p>○離島読書活動支援事業の図書郵送料は相互貸借の費用か。</p> <p>〈回答〉移動図書館や一括貸出、協力貸出、遠隔地返却サービス等の全体に係る郵送料となっている。</p> <p>○会計年度任用職員の報酬について、制度の趣旨に沿って、きちんと金額が下がらずに運営されているのは素晴らしい。他の自治体だと、ボーナスを出さないといけないので、1日あたりの雇用時間を短くしたり、パートタイムに切り替えるといった変更があったりして、総支給額も減ってしまうという問題もある。</p> <p>○会計年度任用職員の報酬が0.2%増えているのは同じ職員が少しずつ昇給しているという認識でよいか。</p> <p>〈回答〉年数による時給の増ではなく、日数の違い（休日勤務手当相当分の算定日）による微増となる。</p> <p>○職員手当について、50%以上の増額になっているのは、令和2年度は期末手当が1回だったのが、令和3年度は2回になったからという認識でよいか。</p> <p>〈回答〉期末手当については、昨年の4月から開始された為、年2回の支給となるのは変わらない。6月の支給分について、今年度は2ヶ月分での期間率となるため、金額が少なかったが、令和3年度は期間率が100%で支給される為、増になっている。</p> <p>○離島読書活動充実事業と、「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業は、沖縄振興特別推進交付金でやっており、期限があると思うが、その後の計画みたいなものはあるか。</p> <p>〈回答〉離島読書活動充実事業については、過去に、一般財源で行ってきた経緯があるので、場合によっては、一般財源でも取り組んでいきたい。「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業についても、次期振計に向けて制度要求を行っているところでもあり、なんらかの形で、継続していけるように検討している。</p>

<p>附属機関等の名称</p>	<p>沖縄県立図書館協議会</p>
<p>日時</p>	<p>令和3年3月11日（木） 13：30～15:30</p>
<p>場所</p>	<p>沖縄県立図書館6階研修室</p>
<p>会議の概要</p>	<p>報告事項3 沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価（対象年土：令和元年度）及び令和2年度対象評価の目標値について</p> <p>（質疑なし）</p> <p>報告事項4 沖縄県立図書館運営方針について</p> <p>（質疑なし）</p> <p>協議事項1 新たな図書館評価について</p> <p>○説明資料の中で、活動指標については「外部の環境に依存しない項目を選定する」と書かれているが、成果指標の方に「外部の環境に依存する項目を選定する」というようなことが書かれていないのはなぜか。</p> <p>〈回答〉活動指標については、明確に、「取り組みの進捗を測る」という意味合いがあるので、内部の活動に限定するような形になっているが、成果指標については、SNSのリーチ数のように必ずしも外的な要因だけに依存する訳では無い為、外的なものに依存すると限定するような記載にはしていない。</p> <p>○活動指標について、指標の数値を年度毎に設定していくが、コロナの影響がまだしばらく続くという中で、目標を設定したけど達成できないような活動指標もいくつか出てくるのではないか。そのあたりはどのように検討したのか。</p> <p>〈回答〉活動指標については、コロナの影響で明らかに難しいというようなものは無いように館内で話をしながら策定している。</p> <p>○成果指標に満足度アンケートが関わると思うが、目標4の調査対象が各市町村や「関係機関等」となっていますが、この関係機関はどういったものを想定しているか。目標4の中には学校支援について入ってきている為、調査対象とすることで、今まではそこまで県立図書館の事業が広く周知されていなかった所があったとしても、アンケートをとることによって、広く周知を図ったり、より利用していこうという意識が出てくると思うので、学校図書館協議会（SLA）と連携しながら、各学校を巻き込んでいった方がいいと思う。</p> <p>〈回答〉市町村立の学校については、市町村の教育委員会に、依頼すれば学校から吸い上げられた情報が上がってくるだろうという考え。学校も間接的には含まれるということでご理解いただきたい。</p> <p>○目標1の成果指標に、Webのアクセス件数やSNSのリーチ数があるが、ネットの世界なので県を超えている。こうした数値をどのようにするのか。</p> <p>〈回答〉県立図書館は沖縄県に所在しているが、色々なところからアクセスがあり、何らかの意見もあるので、参考として、図書館の運営に活かしていきたい。</p>
<p>会議の概要</p>	

<p>附属機関等の名称</p>	<p>沖縄県立図書館協議会</p>
<p>日時</p>	<p>令和3年3月11日（木） 13：30～15:30</p>
<p>場所</p>	<p>沖縄県立図書館6階研修室</p>
<p>会議の概要</p>	<p>○参考指標にレファレンス件数があるが、これは単なる所蔵の問い合わせなのか、内容調査のレファレンスなのかで大きく違ってくると思う。どこかで区切りの線を設けているのか。 〈回答〉レファレンスについては、当初郷土についてのみ入れていた。区分については悩ましいところがある。統計上はクイックレファレンスも含める方向で考えているが、評価指標については、必要性も含めて検討の余地があると考えている。</p> <p>○展示の稼働率という活動指標があるが、あまり見たことがない。例えば、1ヶ月も2ヶ月も同じ展示をしていても、そこが埋まっている限りは稼働していることになる、あまり、実際の評価に合わないのではないかと。県立図書館はすごく展示を頑張っていると思うので、実態に合うような回数の評価にしなかった理由を教えてください。</p> <p>〈回答〉展示に関する指標について、当初は、展示回数を考えていたが、現在、展示の期間を2週間以内から1ヶ月以内に変更することを検討しており、回数が現時点より減になることが想定される為、稼働率とした。</p> <p>○関連取組の中に、「職員の専門性の向上及び研修機会の確保」というのがあり、目標4の活動指標④あたりに入れられないか。 〈回答〉入れる方向で検討したい。</p> <p>【協議結果等】 評価の手法（検証表・総括表の様式等）については、提示した案のとおり承認された。具体的な評価指標については、会議後、メール等により各委員の意見を照会し、会長と調整の上、決定することとなった。また、各指標の目標値等について、実態と合わないものがある場合は、2～3年経過時に、協議会委員に確認の上、見直しを行うこととなった。</p>